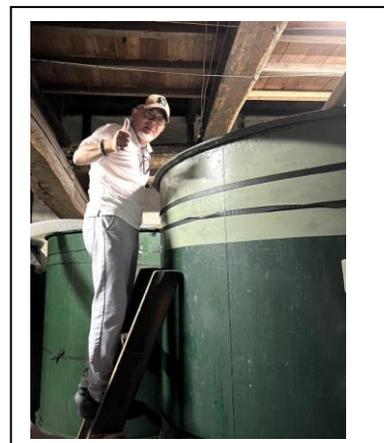


日本の「伝統的酒造り」ユネスコの無形文化遺産 登録決定

松江北高第26期坂根正敏です。

1979年立教大学卒業、同年サントリー（株）に入社し、東京北千住、札幌ススキノ、東京渋谷・原宿の業務用市場開拓を担当した後、キッコーマン（株）国際事業本部に転職し、ドイツに8年（1995～2003年）、香港に5年（2011～2016年）駐在し、日本食の普及促進に努めました。



2016年11月に定年退職後、翌月から日本貿易振興機構(JETRO)に勤務し2023年まで国内の中小企業の輸出支援を行い、昨年からは国税庁日本産酒類輸出促進コンソーシアムの専門家として国内の酒造メーカーの輸出をサポートしています。

昨年12月4日、ユネスコが日本の「伝統的酒造り」を無形文化遺産に登録を決定しました。遡ること12年前の2013年には「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録されて、世界規模で和食レストランが拡大し、日本酒もそれに呼応して輸出を年々増加させてきました。

私自身も、ドイツ駐在の8年間は日本酒を含む日本産食品のプロモーションを担当していましたし、香港駐在の5年間は、キッコーマン100%子会社の日本産食品総合卸会社の現地代表を務め日本の食文化の啓蒙・深耕に努めました。

日本酒を世界の人々にもっと知ってもらいたい、美味しい酒を味わえる機会を創出したいと志を同じくするサッカー元日本代表の中田英寿氏とも度々、意見交換しています。また、元プロテニスプレーヤーの伊達公子氏、ラグビーワールドカップ元日本代表の大野均氏も日本酒のアンバサダーとして欧州や南太平洋諸国での日本酒アピールに尽力してくれています。

2025年3月には、ユネスコ無形文化遺産登録記念イベントを松江市内で開催すべく島根県酒造組合会長である簸上清酒合名会社の田村明男社長と打ち合わせしているところです。「日本酒発祥の地島根」を認知していただく絶好の機会でもあり、広くアピールしていく所存ですので、双松会の皆様も、ぜひこの機会に日本酒の良さ、島根の地酒の旨さを再発見していただけますと幸甚です。

サッカー元日本代表 中田英寿氏と



サッカー元日本代表監督 トルシエ氏と



海外での日本酒プロモーションの様子 (2024年9月実施 イタリア・Veronaにて)
<https://www.instagram.com/reel/DA9K9goo6lW/?igsh=ODlnN2dncmMzejI3>



ミラノ
プロモーション